

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への積極的な参加 ・近隣住民との相互交流（おたがいさまの精神） ・自由度のある生活に加えて入所者さんの主体的生活の展望 ・今までの家庭生活のように地域に根ざした普通の暮らし方を目指す 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、会合などへの参加拡大 ・地域の保育園、学校、老人会との交流
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・事業方針や運営方針は職員及び運営委員で検討し決定している ・月1回の運営委員会やスタッフ会議で理念の追求や実践での確認を行なっている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の共有と実践が全職員の自信と生きがいにつながる
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域に対し「ひなたぼっこ」「そよかぜ」通信の配布による理念の浸透を行なっている ・地域行事を家族に知らせ一緒に参加している ・事業所行事は地域や家族のボランティアの協力が得られている 		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の清掃や祭り・常会に参加し日常的な付き合いに努めている。また近隣者の訪問やボランティア協力、野菜などの差し入れもある。入所者と作った行事食などを届け気軽な交流を図っている。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係が深まる近所付き合いを目指す
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に入会し常会・行事・地域活動に参加し地元との交流に努めている。高齢者サロンや保育園児との交流も行なった。又地元の産業祭などにも参加している。 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所行事への参加要請 ・近隣の独居のところへ行事食をお届けしている 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の独居、認知高齢者の掘り起こしを行い、法人内のデイサービス「ひなたぼっこ」の情報提供をすすめていきたい 又相談業務も始めたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目参考例を職員に配布し、運営委員会やスタッフ会議において検討し業務に活かしている 		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の開催を実施している。事業所行事とかね入所者や家族・職員の状況を知って頂き、改善等に活かしている。推進会議は運営委員会に活かされている。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の充実により地域資源とのパイプが強化されたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ役所担当者との連携を行なっている。研修会の講師として協力を得ている。 ・介護相談員の受け入れを行なっている。 		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・関係職員が行政の行なう研修会に参加し、運営委員会に活かしている。 		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止の徹底は全職員に理解されている。 ・関係職員が虐待防止の研修会に参加し運営委員会やスタッフ会議に活かしている。 		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時十分な説明を行い不安や疑問点についても理解を得ている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・入所者の意見や不満・要望を引き出す努力を常に行なっている。意見等は率直に受止め運営委員会に活かすこととなっている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	来所時または必要に応じ電話等で個々の様子を知らせている。月1回「そよかぜ通信」を発行し暮らしぶりや行事の様子を報告している。 ・金銭出納帳の確認もされている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・管理者・職員は常に家族の意見や不満・苦情の収集に努めている。苦情意見箱を設置している。 ・家族の意見・苦情は苦情処理委員会で受理し内容は運営委員会に反映されている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回の運営委員会と理事会が定例化され、各委員会の声が反映されている。 ・全職員が運営委員となり運営に参加している。賃金・一時金・休暇等に至るまで全員（運営委員会）で決めている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・利用者の受診や体調変化にも柔軟な対応をしている。又家族の要請にも独自の助け合い事業で対応している。行事には職員の加配をしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の移動は少ない。働き甲斐のある職場作り（新しい働き方）を目指し離職防止にも心掛けています。地域性もあり入所者と馴染みの職員もいて安心感がある。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員の資質を高める為の研修は運営委員会の重要課題の一つでもあり、必要に応じた研修や自主的な研修の機会を提供している。 ・採用時の初任者研修も行っている。 ・月1回のスタッフ会議におけるミニ学習会も定着している。	○	・職員全体のレベルアップを図る為の研修（介護職員としての資質について、認知症への理解等）
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・中津川市福祉医療ネットワーク、岐阜県グループホーム協議会、中津川市グループホーム部会に入会し活動を通じて質の向上に努めている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・処遇委員会を設け職員の意見や要望をくみ上げ改善に取り組んでいる。 ・職員間の親睦会を行なっている。 ・職員の休憩室の確保が課題である。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・職員の意見や要望・提案が共有され実績となり継続的に取り組んでいる。 ・柔軟な勤務体制と平等な賃金体系を図り、新しい働き方の追求により各自が向上心を持って働けるよう努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に本人の生活歴や趣味・嗜好を把握し、入居当初の一時帰宅や外泊・家族親戚の訪問を柔軟に受け入れ不安感を軽減させた。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・事前訪問や家族との話し合いにより不安や疑問点・要望を聞く機会を設けている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・疾病への配慮と対策を講じている。 ・通院方法の支援（助け合い事業の提案）	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・職員と同地域で顔なじみであったり親戚関係であったりで安心感の持てる環境であった。 ・無理なサービスを提供せず本人の思いを尊重し、信頼関係を築き常に笑いのある環境づくりに努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・入所者の主体的生活の基本方針であり本人の出来る事（調理・掃除・洗濯・ゴミ出し・草取り・買物・縫い物など一般生活）したいこと（温泉・花見・祭り芝居見物・喫茶店など希望を取り入れ一緒に楽しむ）を援助している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・本人の誕生会をはじめ施設行事（敬老会、花見、夏祭り、陶芸教室等）へ参加され、また地域の祭りにも同行され一緒に楽しまれている。 ・常に家族と共に支えあう信頼関係に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・家族介護の困難さを理解しよりよい関係に努めている。いつでも気軽に訪問し個室でゆっくり過ごせる環境づくり、誕生会等一緒に過ごす機会を提供することによってより良い関係が築かれている。	○	・家族会の充実を図りたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人の友人知人への働き掛けにより来訪を機会を作り親交の継続を図っている。 ・住み慣れた地域の祭りや運動会への参加により馴染みの場や人の関係を作っている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・お互いの部屋でゆっくりされる姿もあり、又相手の方が困っておられる様子を職員に連絡されることもある。入居者間での不愉快な言動にも注意されることもある。・重度の方への理解を求める説明を行い信頼関係の保持に努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・継続終了のご家族は法人への支援者であり、行事や職員との親睦会に参加されている。 ・相談、ボランティア、通信の配布などを通じて関係を保っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・個々の意向の把握は日々の介護において重点項目としている。ミーティングやスタッフ会議で個々の主体的生活に向けた検討を重ねている。「ささっとコーナー」を設け、個々の小さな思いや希望などを汲み取る機会を作り、職員の気づきや観察力を養う努力をしている。	○	・声なき声（意思表示がうまくできない人）の思いをどのように引き出していくかを今後の課題としたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・一人ひとりの生活歴の把握をし馴染みの暮らし方に努めている（晩酌、個室でのコタツ・テレビの利用、馴染みの家具設置など） ・親族、友人知人との親睦交流の支援		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一人ひとりの出来る事（掃除、食事準備、レク、運動、散歩）を暮らしの中に取り入れている。 ・体調管理も看護師を中心に職員全員把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・介護計画は担当者会議（ケアマネ、担当職員、家族、本人）およびスタッフ会議で検討され作成されている。気付きコーナーを設けて個々の思いや要望暮らし方を吸い上げ全職員で共有している。 ・運営委員会やスタッフ会議は一人ひとりがよりよく暮らす為の検討を重点課題として取り組んでいる		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・日々の変化や実施記録・個別記録を常に把握し、スタッフ会議等で検討し必要に応じて見直しをしている。また原因を探る検討も行なっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別記録と実施記録が活かされた資料として介護の実践に反映するよう努めている。「気付き（ささっと）コーナー」の活用により実践や介護計画が充実してきた。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・家族の要望に応じて事業所の助け合い事業で通院介助を行いました本人の要望（帰宅、家族旅行、お出かけ）にも柔軟な対応で支援している。 ・家族からの相談にも対応し、必要に応じて他機関への連携も速やかに対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域の歌舞伎保存会の協力を得て歌舞伎の練習および発表の場を職員と一緒に持ってた。 ・事業所行事は自治会へ要請した。・地元行事への参加・社協のサロンに参加し交流を持った。 ・消防署による避難訓練と救命講習の実施 ・地域の自主防災会との連携あり		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・地域の他事業所主催の行事に参加し交流 ・社協のサロンに参加し保育園児との交流 ・ケアマネ部会、グループホーム部会に参加し意見交換および交流を持っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・ケアマネ部会等を通じて連携を持ち、必要に応じて相談を行なっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人や家族の要望に沿ってかかりつけ医との受診や往診の援助をしている。 ・かかりつけ医との相談によりDMの専門医に変更し病状の回復あり	
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・施設医が認知症に詳しく不穏症状や睡眠状態の改善を図りながら相談や診断の支援を受けている。 ・家族や本人の希望により専門医をかかりつけ医とされる方もある。	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・職員の中に看護師資格者あり、個々の健康管理、投薬管理、緊急時の対応などの支援に当たっているまた疾病や対応など介護職としての学習の支援も行なっている。	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院時における職員の対応は早期退院に向けた励ましに繋がっている。病院関係者との連携は施設医や看護師を通じて情報交換や相談に努めている。	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・家族、本人からの希望があれば受け入れる方向で検討している。家族とは重度化や終末期の相談は行なっている。また施設医とも話し合いを進めている。	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・終末ケアを希望された対象者が入所されていて時点でスタッフ会議、運営委員会で慎重に検討を重ねた。「出来る事、出来ない事」を施設医を含め話し合った。また介護職ができる医療行為について行政へ相談した。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・本人の希望により自宅に戻られたため、訪問介護・訪問看護・かかりつけ医などへの対策を講じ情報提供を行い、住み替えによる本人や家族のダメージの防止を図った。また職員の自主的な訪問による支えは大きかった。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・日常生活の中、相手の立場や気持ちに配慮した声掛けや行動に心がけ、スタッフ会議や運営委員会で議論し徹底されている。プライバシー確保に関わる点検はスタッフ会議で検討され共有している。</p> <p>・プライバシーと介護の側面を体験から学び教訓としている。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・この事は事業所が重要課題として会議で取り組んでいる。また職員研修も取り入れた。一人ひとりの願いや思いが出しやすい雰囲気作りにも努めている。</p> <p>・自己決定の支援として職員は「出過ぎず一歩下がって待つ」姿勢を心がけている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その人らしい暮らしぶりが始まりだし、個々のやりたい事や出来る事が自主的に出され意欲的な部分が現れてきた。予定や規制が無いため自由な生活を支援することが出来る。その日の予定はみんなの声から実行されることが多い。(天気が良いと外出に野菜を見ると皮むきや切ること、広告でゴミ箱作り)</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・身だしなみやおしゃれについては個々に支援し、できる人は服装も自由に選択され、汚れた衣服の交換や洗濯は本人納得である。</p> <p>・理容は月1回ボランティアの協力があり清潔保持がされている。また髪型の好みを言われる方もある</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・季節の食材、新鮮な食材、自然素材に心がけそれぞれの好みの献立を取り入れている。個々の出来る事（野菜の下準備、味付け、煮物、盛り付け、配膳、片付け）を一緒に行い自信や張り合いにつなげている。また同じ食卓を囲み話題を拡げ楽しい時間を創りあげている。・以前作っていた行事食（おけぎ 五平餅 ほう蕨寿司等）ができ		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・晩酌を楽しみにされる方には夕食時提供し満足されている。その他希望の飲み物やおやつもあれば提供している。 ・タバコは健康上のこともあり禁止している。現在喫煙希望者はない		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・オムツはずしには積極的に取り組んでいる。それぞれの排泄パターンを見極めトイレでの排泄に繋がり家族からおむつ代の減少となり喜ばれた例もある。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・一人ひとりの希望やタイミング、必要に応じた入浴となっている。また残存能力を活かした支援に取り組んでいる。毎日の入浴を用意し清潔保持のみとせず楽しみの一つとなっている。スタッフとの「お話の場」ともなっている。 ・就寝前の入浴にはまだ取組めてない		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・一日の過ごし方の工夫（家事、散歩・外出等）でメリハリをつける事で改善されている。個々の生活習慣も配慮している。 ・眠れない場合医師と相談の上、服薬も調整している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・行事食などの共同作業はそれぞれの役割があり分担して行なっておられた。 ・自主的な会合「考えよまい会」が出来、行事ややりたい事が計画され職員は一步下がった支援を心掛けている。・日々の生活を職員と一緒にする事で個々の生活が少しづつ見えてきた。	○	・行事食作りを地域の高齢者の皆さんやボランティアの皆さんと一緒に集まりを提案したい


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・本人の希望により買物、喫茶店、ゲームコーナーなどで使える支援をしている。常に自分で所持されたい方への支援も家族と合意している。 ・出納帳の管理も家族へ確認されている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・その日その日の希望に添った外出支援は当然化されている。また計画された外出への支援もボランティアの協力を得ることが出来安心である。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・地域への祭り、地域行事、日帰り温泉旅行など家族を含めたが外出支援に取り組んでいる。 ・家族との小旅行や外出への支援も行なっている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の使用は自由であり、それぞれの希望に添った支援をしている。また手紙などの支援も個々の出きる支援を行なっている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・訪問への規制は無く家族の夜間訪問も度々ある。同級生や友人の訪問もあり居心地の良い環境を工夫している。家族訪問には一緒に食事やお茶を楽しめるよう支援している。・施設行事や誕生日会への参加により家族、親戚、友人との交流を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・「身体拘束を禁止する方針と手順」を全職員に配布し徹底している。また身体拘束をしないケアに基づきスタッフ会議で検討している。 ・外部研修にも参加し職場で反映している。		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・事業所の方針であり鍵を掛けない暮らしは当たり前の状態と成っている。一人ひとりの生活習慣を把握し目配りと気配りの徹底に心掛けている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・一人ひとりの習慣や行動を把握し、さりげない目配りと気配りに努めることを会議で確認している。 ・基準値以上の職員配置で安全を配慮している。 ・ヒヤリハットを安全確認の宝とし、スタッフ会議で検討し共有している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・裁縫、編み物、剪定などは自立や楽しみに繋がり禁止するのではなく担当職員の管理責任の下で行なわれている。調理に関わる包丁等の取り扱いはできる力を認め一緒に作業することで見守ることができる。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・ヒヤリハットの研修と同時に個々のリスクを把握してスタッフ会議で検討している。 ・自主的な防災訓練も数回実施された。夜間における避難訓練を計画中である。	○	・夜間の避難訓練の実施
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・マニアルを作成し全職員に徹底している。 ・看護師資格のあるスタッフの雇用により応急手当や初期対応の指導を受けている。医療との連携がより密になった。 ・消防署指導による救命救急と避難訓練の講習を職員の必須実習として取組んでいる。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防署指導の避難訓練と自主避難訓練を実施し防災グッズの点検も行なった。地域自主防災会のメンバーによる建物と避難経路の確認あり。 ・非常時の避難マニュアルと避難経路図を各所に掲示し職員へ徹底を行なっている。 ・近隣2軒に火災感知器による通報が完備されている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・一人ひとりのリスクや身体機能の把握に努め、個々の家族と話し合い自由度の高い生活や鍵のない生活への理解と起こりえるリスクの対応策など話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日々の申し送りを2・3日前の様子から継続的に観察できる様に行い「いつもと違う」の気付きに努め共有している。 ・異変の対応には看護師または管理者への速やかな報告あり、医師への連絡・相談も敏速に対処している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・看護師による服薬管理と健康管理が確立している薬の目的や用法・用量の指導も指導を受け適切に行なわれている。 ・誤薬の再発防止への検討はスタッフ会議等で検討されている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・「便すっきる表」が定着し個々の排便習慣の把握ができています。常に飲食量の管理表も実行され適度な運動も実施されている。 ・医師との相談の上 便秘薬の服用支持も受けながら対応している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食後、個々に援助し自立で歯磨きされる方へは声掛け支援を行なっている。 ・口腔ケアの講習をスタッフ会議で取り組んでいる。 ・歯科衛生士（法人内職員）による指導も受けている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日本を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・毎食の食事量と水分量の管理が確立され健康管理の支援に繋がっている。個々の食事習慣や状態に合わせた支援に心掛けている。 ・糖尿病疾患の方の食事管理の支援も行ない改善され本人・家族共に喜ばれている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染症予防の学習をスタッフ会議で行い、対策を検討した。全員の手洗いとうがいの励行を徹底し外来者への告知も掲示している。ノロウイルス対策の消毒液の確保、インフルエンザ予防接種は入居者職員全員受けた。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・常に新鮮な食材を提供、台所の衛生管理はその日の担当職員が煮沸消毒と清掃を行なっている。台所用エプロン、スリッパを区別して使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・一般家庭のような玄関回りとなっている。いつでも誰でも出入りが自由である。 ・整理整頓を心掛けているが実行できない時もある		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・和風感覚で落ち着いた空間となっている。フロアからは外の景色が眺められ季節感がわかる。冬場はコタツを設置し、穏やかな居心地のいい場となっている。トイレも4ヶ所あり便利である。風呂は木の浴槽で暖かい又誘い合って2人で入ることもできる大きさである。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・今では一人ひとりの居場所的ところができ、お互いに思い思いの過ごし方が確立してきた。気の合った者同士で呼び合い一緒に過ごされるなど自由な暮らし方である。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・使い慣れた家具や馴染みの物を持ち込み、コタ ツ、テレビ、ラジカセ、装飾品などで安心感があ るベットの位置も家族や本人の意向で配置してあ る。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・木材中心であり環境に配慮した建物である。 ・空調も自然に近い工夫がされ、全館温度調整も 状況に合わせる事ができる。個々の体調に合わ せた温調もこまめに行なっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・手すり、玄関の昇降機、居室の洗面、トイレ周 りなど安全に生活出来るよう工夫されている。 ・トイレは各居室の近くに設置され夜間の使用や 混乱を防ぎやすい環境である。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・個々のわかる力、できる力を引き出し役割や意 欲に繋がるような環境を整えている。以前作った 布ぞうりも忘れられていたが数回挑戦すること で思いだされ満足された。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・ベランダはティタイムに、ひなたぼっこ、談話 室洗濯物や布団の干し場となり活動の場である。 また外回りは散歩、野点、草取りなど多様な活動 の場として活かされている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

グループホームそよかぜの設立理念「いつまでも人としての尊厳が保持できるために」を基に選択の自由があり、人権とプライバシーが確保され、助け合う人間関係の中で意義深い生活が出来る事を常にめざしています。今年度は入居されている皆さんが自分の思いややりたい事を自分達で決めていただき、出来ないところは職員がお手伝いするという「主体的な生活」に向かって実践が行なわれています。